

北原 白秋(きたはら はくしゅう)

資 料

短冊 『きりさめの こまやかにかかる 猫柳 つくづく見れば 春くれにけり』

作 者

1885(明治18). 1. 25－1942(昭和17). 11. 2

熊本県南関町生まれ(福岡県柳川市育ち)。

大学在学中から詩人として注目される。「パンの会」に参加し、耽美主義、象徴詩人として有名になる。歌人、童謡作家として多くの作品を残す。

参考文献

『白秋全集(全40)』(北原白秋/著 岩波書店 1984. 12
－1988. 8 [県立 918. 6/533/1－40])

『父・白秋の周辺』(北原隆太郎/著 短歌新聞社 2007.
3 [県立 911. 52SS/537(22063887)])

『北原白秋』(三木卓/著 筑摩書房 2005. 3
[県立 911. 52PP/503(21835343)])

『北原白秋その小田原時代 木菟の家をめぐる人たち』
(野上飛雲/著 かまくら春秋社 1992. 11
[県立 911. 52/389a(21788781)])

